

【卒業生の姿】



（個人情報保護のため、わかりづらくてすみません）

それでも、姿勢の良さは伝わってきます。この腰骨が、すっと立っている卒業生の姿。ほれほれ致します。

“見えないものを感じる心と、見えないものを形に表し伝えていく”

昨日の卒業式。この凛とした姿は、後輩の4・5年生にも、確かに引き継がれました。

みなさんのおかげで、「厳か」な式となりました。

ありがとう。卒業生！！そして、お元気で(´▽`)/

これは、高学年昇降口にあるコンクリートでできた角柱。何に使われたもののなのか、不明ではありますが…。

ここには長年ため込まれた砂や、得体のしれないゴミなどが入っています。しかし、相当大的なゴミでない限り、ここの中までゴミを拾うことは、さすがにしない人が多いかと思います。

しかし、先日ある学年の子どもとそうじをした時に、その子が、この場所の小さなゴミを当たり前のように拾ったのでした。

これには少し驚いて、**「どうしてこの子は、こんなところのあんな小さなゴミまで拾うんだろう」**と不思議に思ったのです。

そして、推測してみるに…このクラスは総合的な学習の時間にゴミ拾いなどをしたりして、環境問題について学んでいたのでは。

我々の仕事は、すぐに成果が見えづらく、未来に向かっての種まきをしていることが多いのですが、こうやって、その成果を見ることができると、とても幸せな気持ちになります。

この芽がこれからもすくすく育っていつてくれることを願います。



今年度、最後の登校時の会話です。

Aさん「校長先生、ちゅうしゃはすき？」

わたし「あんまり好きではないかなあ。でも、どうして、朝から注射の話なの？」

Aさん「あのせんろの下のところから、けっこんの話をして。けっこんしたら赤ちゃんをうんで。その時に、ちゅうしゃをするので、いたくていやだなあ、って思って」

わたし「なるほどね」

とは言ったものの、結婚から出産、そして注射という発想。さすがに、ここまで飛んだ会話は想像できず。

子どもの発想力には、いつもびっくりさせられます。